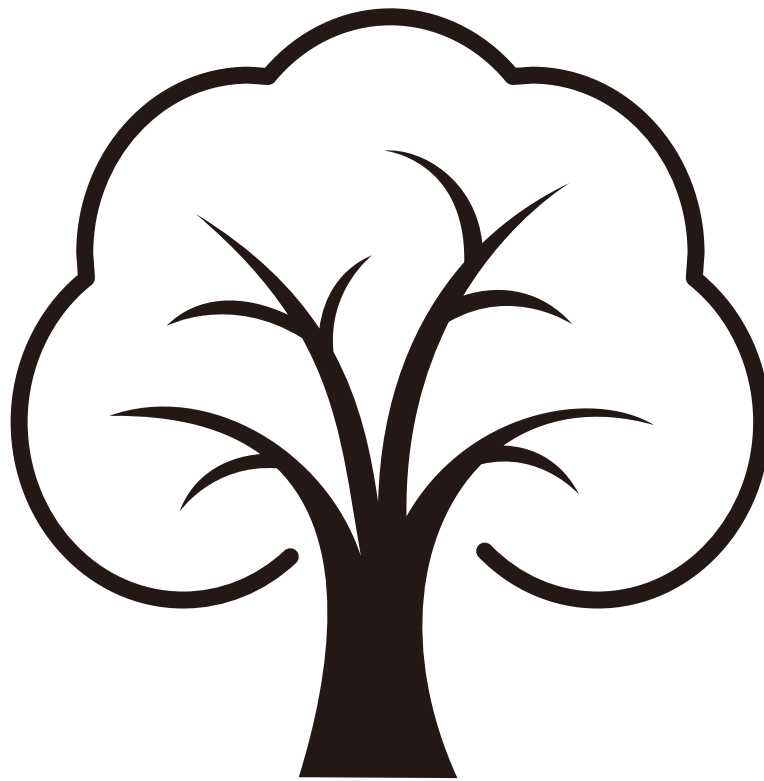


地域連携 PBL オープンミーティング 第3回

2014年10月3日（金）15:00～17:00（予定）立命館大学朱雀キャンパス6階601西会議室

中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」（2008年12月24日）以来、いわゆる参加型学習（例えば、PBL など）に関する実践と研究が盛んとなっています。そして直近の中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」（2011年8月28日）では、学生の主体的な学修を促すために、インターンシップや留学体験やサービスラーニングといったキャンパス外での学修機会の創出が必要と示されました。こうした状況の中、立命館大学においてサービスラーニング等の実践に携わってきた教員らにより、2014年度、大学地域連携による学習プログラムにおける評価システム構築と協働スタイルの収斂のための国際比較研究プロジェクト（坂田 謙司・桑名 恵・堀江 未来・河井 亨・山口 洋典）を展開し、地域連携・PBL の実践を考える公開研究会を連続で開催いたします。ふるってご参加ください。



PBL の実践でのインパクト評価の視点～ガジヤマダ大学を例に

立命館大学サービスラーニングセンター「ボランティア・サービスラーニング（VSL）研究会」との併催企画

話題提供：桑名 恵先生（立命館大学共通教育推進機構准教授）

桑名先生は、去る9月7日から10日、ガジヤマダ大学によるコミュニティサービスプログラムのヒアリングに向かいました。また、1999年にピース・ウィングス・ジャパンの人道支援プログラムで東ティモールに赴任した際にも、物的支援に終始しない人道支援のあり方を追究しています。今回、その調査結果の速報として、PBLを通じた問題解決への貢献をどう評価するかに迫ります。

次回：12/5 金 15時～ **話題提供者**：堀江 未来先生（立命館大学国際教育推進機構准教授）

堀江先生の在外研究の予定から10月と12月の話題提供順を変更いたしました

地域連携 PBL オープンミーティングは、立命館大学研究部に採択された「大学地域連携による学習プログラムにおける評価システム構築と協働スタイルの収斂のための国際比較研究プロジェクト」（愛称：OAK Project）の研究活動として開催されます。（研究代表者：山口洋典／共通教育推進機構准教授 gucci@fc.ritsume.ac.jp）参加無料。開催時間内の途中入退場はできる限りお控え下さい。また、資料の用意の関係上、5名以上でのご参加の場合は、事前に上記のメールにご連絡をいただけますと助かります。なお、今後の予定は以下のとおりです。（(4)12/5(金)、(5)2月(日時未定)。3月には規模を拡大し公開フォーラムを開催予定です。